

令和7年度 学校だより



りんごの里から

6月号

青森県立弘前第一養護学校 令和7年6月19日発行 高等部教頭 加福千佳子

「チーム弘一養・チーム高等部」

4月に着任いたしました、高等部校舎教頭の加福千佳子と申します。どうぞ、よろしくお願いいたします。私は、平成12年度から23年度までの12年間、弥生の校舎（現小中校舎）に勤務しておりました。年月が経ち、弥生の校舎も増築され、高等部は校舎が分かれてと、建物は随分と変わっていましたが、当時同僚だった先生方とのやり取り、岩木山を正面に見上げる景観、そして始業式に流れた校歌に、こどもたちとの行事や学習活動がいろいろと思い出され、一気に時が戻ったようでした。

4月から高等部校舎に居りますが、桜からはじまり、校地内のツツジや花壇の色とりどりの花、そして岩木山も緑が鮮やかになり、季節が春から夏へと移っていく様を感じているところです。



さて、タイトル「チーム弘一養・チーム高等部」ですが、石戸谷校長のもと、児童生徒224名、職員131名が、創立60周年の今年を行事やそれぞれの学習場面で盛り上げていこうとしています。校舎は離れていても目指すは「チーム弘一養」です。そして、父母の会、ひまわりの会のみなさま、学校運営協議会や町内会のみなさまにもご支援をいただくことで、チーム力が増して参ります。どうぞよろしくお願いいたします。

次に「チーム高等部」ですが、5月7日に行われた生徒総会で、生徒会役員から「安全で楽しい学校」「協力して取り組む学校」「高等部が一丸となって」「一つのチームとして」というキーワードで話がありました。私が発信するまでもなく、生徒たちは、自分たちができることやすべきことは何かをしっかりと考えていました。そして、この後、生徒会役員により各階の廊下に「意見箱」が設置されました。学校をより良くしていくために、みんなの意見を聞き、検討し、新たな活動につなげていくためのものです。学部目標は「自ら選んで決める、仲間と共に創り出す」です。生徒たちからどんな意見が出されるのか、仲間とどんな学校にしていくのか、とても楽しみです。

5月14日～16日には、2・3年生が修学旅行（大阪方面）に行ってきました。事前に下調べを念入りに行い、それぞれに目標を立てて出発しました。3日間のシュールを元気に終え、たくさんの新たな経験をして帰ってきた表情は、少し大人っぽく、頼もしく見えました。1年生もまた、先輩に続こうと気持ちを新たにしたことと思います。

この後も大きな行事や交流活動、進路に向けての学習が続きます。私たち職員も生徒たちと一緒に一つ一つを乗り越えながら「チーム高等部」として、学校を盛り上げて参ります。

